

星空の交差点

み ち か や ち ょ う か ん さ つ

身近な野鳥を観察しよう！

木の葉の落ちた冬は、バードウォッチングに最適な季節です。身近なところでも、いろいろな野鳥を見ることができます。今回は、へそ公園周辺で見ることができる鳥たちをご紹介します。皆さんは、何種類見つけられるでしょうか？

身近なところで見られる



スズメ（スズメ科）



ヒヨドリ（ヒヨドリ科）



セグロセキレイ（セキレイ科）

公園などで探すと見られる



コゲラ（キツツキ科）



ヤマガラ（シジュウカラ科）



メジロ（メジロ科）

会えたらラッキー



ウソ（アトリ科）



アオバト（ハト科）



ルリビタキ（ヒタキ科）

カワイイ・



鳥をびっくりさせないように、静かにそ〜っと観察しましょう！



へそ公園に遊びに来るときは双眼鏡をお忘れなく！



●北斗七星から北極星を見つけよう！

北の方角の自印「北極星」はいつも真北の空に光っています。前号ではカシオペア座を使った見つけ方をご紹介しましたが、今回は北斗七星を使って探してみましょう。

7つの星がスプーンのような形に並んで光っているのが北斗七星です。スプーンの先のふたつの星を結んで、5倍ほど伸ばすと北極星が見つかります。カシオペア座と北斗七星はいつも向かい合って北極星の周りを回っているの、どちらかの方法でいつでも北極星を探すことができます。



●3月中旬ごろ 夕空の共演

3月中旬の18時30分ごろ、西の空の低いところにとっても明るく輝く星が見つかります。地球のひとつ内側を回る金星です。金星は9月いっぱいくらいまで夕方の方角で宵の明星として見ることができます。金星の右上をよく見ると、もうひとつ星が見つかります。これが、太陽系でいちばん内側を回る水星です。毎日見ていると、金星と水星の位置がだんだん変わっていくのがわかります。3月19日には金星の左側に細い月が並んで光ります。皆さんもぜひ夕空の共演をお楽しみください。



●月の夜空を照らすのは？

月は日に日に形を変えていきます。新月から三日月、半月、満月と次第に太くなり、満月を過ぎると今度は細くなり、また新月を迎えます。約30日で繰り返される月の満ち欠けは、昔から生まれ変わりの象徴とされてきました。月は、自分で光っているのではなく太陽の光を受けて光っています。太陽に照らされた月の昼の部分だけが光っているの、欠けて見えるのです。

三日月型の月をよく見ると、月の夜の部分がうっすらと光って見えます。何が月の夜を照らしているのでしょうか。答えは、地球です。月から見ると、地球から見た月の4倍ほどの大きさで地球が輝き、月の夜の景色を照らしているのです。「地球照」と呼ばれるこの現象を、英語では「新しい月に抱かれた古い月」(The Old Moon in the New Moon's Arms)と呼ぶそうです。三日月の白、ぜひじっくりと眺めてみてください。



●星空の宝飾箱⑧ いっかくじゅう座のばら星雲

冬の夜空の自印、「冬の天三角」の中に、伝説の生き物ユニコーンの星座、いっかくじゅう座があります。暗い星ばかりでその形をたどるのが難しい星座ですが、この星座にある「ばら星雲」は、その名のとおりに夜空に咲く真っ赤なバラのような美しい天体です。星雲の正体は、中心にある若い星たちの光を受けて、水素が赤く光っている姿です。写真ではすばらしい星雲ですが、私たちの目は赤い光にほとんど反応しないので、望遠鏡でも美しいバラの姿を見ることはできません。





テラ・ドームみどころ紹介

転倒升型雨量計



ニュースなどで「1時間あたり60mmの記録的豪雨が降りました。」などとよく耳にしますね。ところで皆さんは雨の量をどうやって量っているかご存知でしょうか。

テラ・ドームの2階、気象コーナーに、アメダスの観測に使われていた雨量計を展示しています。

カバーの上部はじょうごの形になっていて、集められた雨は、雨量計の升にたまります。そしてある一定の量がたまると、升が傾き、たまった水を排出します。0.5mmの雨で升が1回傾くように調整してあります。左右の升に交互に水をため、升が何回傾いたかを数えて、雨量を量っているのです。鹿威しと同じしくみですね！

展示では、ボタンを押すと雨量計に水が流れ込み、升が交互に傾く様子を見ることができます。普段は見られない雨量計の中をぜひごらんください。

シーソーみたいだね！

ここに水がたまる



へそ公園周辺の植物 ナズナ(アブラナ科)

ナズナは田の畔や道端など、いろいろなところで見られます。2月から6月ごろまで、小さな白い花を次々に咲かせます。春の七草のひとつで、昔は貴重な冬の野菜だったそうです。

花が終わった後にできる果実の形が三味線のバチに似ていることからペンペン草とも呼ばれます。



☆オリオン座クイズ☆

第1問

オリオンの職業は？

- ①闘牛士
- ②料理人
- ③狩人

第2問

次のうち、オリオン座に本当にある星はどれ？

- ①サイフ
- ②メガネ
- ③ベルト



第3問

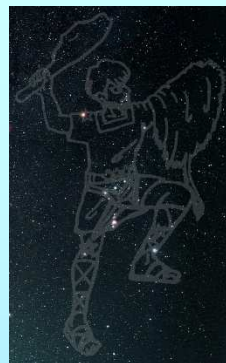
オリオンが苦手なのは次のうちどれ？

- ①ハチ
- ②ヘビ
- ③さそり

第4問

オリオン座のベテルギウスが赤いのはどうして？

- ①鉄分を多く含んでいるから
- ②温度が低いから
- ③温度が高いから

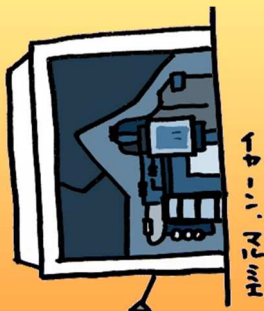


イベント情報

感覚のふしぎ展

私たちは普段あまり意識していませんが、常にいろいろなことを感じながら行動しています。手は、触るだけでその材質や温度、重さなどを瞬時に知ることができます。また、平衡感覚や足の裏の感覚により、地面の傾きや段差などを感知し、転ばないようにバランスをとっています。

展示を通して、皆さんの体に備わった高性能センサーのひみつを探ってみましょう！



- ★ 3月21日(土)～6月24日(日)
- ★ 場所：テラ・ドーム企画展示室
- ★ 入館料だけで見られます。

テラ・ドームギャラリー

- 2月 北はりまの野鳥写真展
- 3月 サイエンス講座受講生作品展
- 4月 パステルアート展



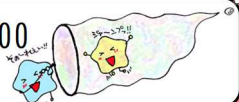
★ ギャラリーのみの見学は無料ですが、展示室の見学には入館料が必要です。

ギャラリーご使用についてのお問い合わせはお気軽にテラ・ドーム(0795-23-2772)まで。

土曜ちよこっとサイエンス

テーマは「体感」。昔々の火おこし体験や、バルーンアートなどで、科学の不思議を体感しよう！

- ★ 毎週土曜日 14:00～16:00
- ★ 内容は週ごとにかわります



ゴールデンウィークはテラ・ドームへ

テラ・ドームは4月24日(火)から5月6日(日)まで、休まず開館します！

科学教室やスターウォッチングなどイベントも盛りだくさんです。ゴールデンウィークはテラ・ドームで楽しい時間をお過ごしください。

- 開館時間 10:00～18:00
- 休館日：月曜日・祝日の翌日(土日祝は開館)
- 入館料：大人510円・学生200円・小中学生100円

子ども科学教室

身近な材料を使った実験や工作で科学のふしぎを体験しよう！

入館料だけでどなたでもご参加いただけます。

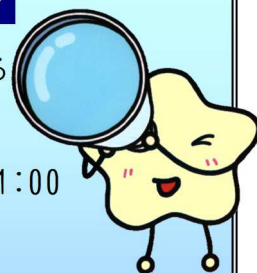


日曜・祝日 13:30～・15:30～

- 2/4・11 ふわふわUFOをつくろう
- 2/12・18 くるくるマグネットをつくろう
- 2/25・3/4 つくって食べよう！でんきパン
- 3/11・18 つくってとばそう！ねつききゅう
- 3/21・25 空とぶタネのひみつ
- 4/1・8 ゴム鉄砲であそぼう
- 4/15・22 ふわふわボールをつくろう
- 4/29・30 紙トンボをとばそう

夜のスターウォッチング

81cm大型反射望遠鏡でいろいろな星を見てみよう！



★ 土曜日・祝前日 19:30～21:00

★ 1人200円(幼児は無料)

★ 要電話予約(当日でも可)

※ 悪天候の場合はプラネタリウムと星のお話です



みどころ：シリウス、散開星団M37、オリオン星雲、渦巻銀河M81 など

テラ・ドーム通信「星空の交差点」

2018年2月号

にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

TEL 0795-23-2772

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/terra/>